



文化ふっとつ新潟!

天皇陛下御即位記念

第34回 国民文化祭・にいがた 2019

第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

beyond
2020

日本博

ことば

詩 フェスティバル

～花火と良寛の地で～

全国から寄せられた俳句・短歌・現代詩の表彰式を行うとともに、「良寛と花火」をテーマに、ゲストに壇蜜さんを迎えたトークショーや、音楽や映像によるアトラクションを通じて、ことば表現の楽しさ、奥深さをお伝えします。

表彰式

全国から募集した俳句・短歌・現代詩の入賞表彰

オープニングアクト ゲスト VOX ORATTA

詩をめぐる 大人女子の トークショー

俳人、歌人、詩人としてそれぞれに活躍中の女流選者と、タレントの壇蜜さんをゲストにお迎えし、遠藤麻理さんがナビゲート!

5名の女子トークの向かう先は???



進行：遠藤麻理
(フリーアナウンサー)

開催日 令和元年10月26日(土)

時間 13:30～16:00

会場 柏崎市文化会館アルフォーレ・大ホール
(新潟県柏崎市日石町4-32)

入場
無料

※展示ギャラリーでは入賞作品巡回展示を行います

背景写真：にいがた景勝100選第1位
「良寛と夕日の丘公園」から日本海を望む

お問い合わせ

第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭
新潟県実行委員会「詩フェスティバル」事務局

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
新潟県県民生活・環境部文化振興課

025-280-5933

公式ホームページ

<https://niigata-futtotsu.jp/kotofes>

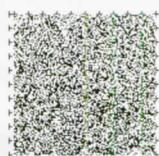
ことばフェスティバル

検索

Uni-Voice

「音声コード Uni-Voice」

専用読み取り装置やスマート
アプリを利用して、情報を音声で
聞くことができます



ことば 詩 フェスティバル

表彰式

応募総数 5,503 点から文部科学大臣賞をはじめとした各賞の表彰式を行います。

- 審査員 【俳 句】秋尾 敏、稲畑汀子、岩岡中正、大久保白村、大輪靖宏、神野紗希、佐怒賀直美、高野ムツオ、対馬康子、徳田千鶴子、中原道夫、中村和弘、矢澤彦太郎
【短 歌】五十嵐順子、梅内美華子、沖 ななも、田宮朋子、長澤ちづ、藤原龍 郎、松田慎也
【現代詩】石下典子、黒羽由紀子、杉本真維子、野木京子、峯澤典子、八木忠栄

オープニングアクト

越の国室内合唱団 VOX ORATTA



広い地域から 10 ~ 20 代の学生や社会人を中心とした合唱人が集まり、2011 年 4 月に創設された合唱団。長岡市を拠点に活動を行っている。二階堂孝氏を常任指揮者に迎え、全日本合唱コンクール関東大会などに新潟県代表として連続出場し、優秀な成績を収め、全国大会へも出場している。2017 年 5 月、長岡花火、長岡空襲を題材とした合唱のためのシアターピース「あの日の空の詩」を委嘱初演。

「ORATTA」とは「私たち」という意味の方言をラテン語に転用したもの。

仁階堂孝

(越の国室内合唱団 VOX ORATTA 常任指揮者)



合唱指揮者。尚美学園大学兼任講師。現在、各地合唱団の常任指揮者として指導に携わる。作曲家と協力しての新作の紹介にも意欲的に取り組み、様々な作曲家の作品の初演指揮を行っている。

詩をめぐる大人女子のトークショー



神野紗希 (こうの さき 俳人)

1983 年、愛媛県生まれ。俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。句集に『光まみれの蜂』(角川書店)著書に『日めくり子規・漱石』(愛媛新聞社)など。近刊にエッセイ集『もう泣かない電気毛布は裏切らない』(日本経済新聞社)。現代俳句協会青年部長。明治大学 聖心女子大学講師。



梅内美華子 (うめない みかこ 歌人)

1970 年、青森県生まれ。馬場あき子に師事、短歌結社「歌林の会」編集委員。1991 年角川短歌賞受賞、2001 年『若月 (みかづき) 祭 (さい)』で現代短歌新人賞、2012 年『エクウス』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、葛原妙子賞、短歌研究賞。2013 年青森県褒賞。2016 年青森県文化賞。歌集歌書『真珠層』『現代歌枕 歌が生まれる場所』等。



峯澤典子 (みねさわ のりこ 詩人)

1974 年、茨城県生まれ。2008 年、月刊誌『ユリイカ』の詩の投稿欄の新人に選ばれる。詩集に『水彩画』『ひかりの途上で』(第 64 回 H 氏賞)「あのとき冬の子どもたち」。翻訳書に『ヌースーとフローレンス』『ヌースー サーカスへいく』など。東京 表参道、スパイラルスコレ「詩の教室」の講師を務める。



壇蜜 (だんみつ タレント)

1980 年、秋田県生まれ。タレント。日本舞踊師範、調理師など数々の資格を取得、多彩な職種を経験後に、29 歳でグラビアデビュー。テレビや映画出演のほか、新聞 雑誌などで幅広い執筆活動を行う。NHK E テレ「俳句王国が行く」出演。

進 行



遠藤麻理 (えんどうまり フリー・アナウンサー)

1995 年第 8 代 JR 弥彦駅観光駅長に就任。その後テレビ新潟放送網、燕三条エフエム放送を経て 2000 年新潟県民エフエム放送 (FM PORT 79.0) に開局時から携わる。2017 年には初のエッセイ集「自望自棄 ～わたし がこうなった 88 の理由～」を出版し人気を博した。多くのファンからの要望に応え、2019 年 6 月 30 日には第 2 弾「自業自毒 ～平成とわた史～」を出版した。

入賞作品巡回展示

文部科学大臣賞、新潟県知事賞などに入賞した作品を展示します。展示物のデザイン 制作は授産施設のみなさん、「俳句」「短歌」は、高等学校書道部の生徒さんの「書」で制作します。

●入賞作品巡回展示・スケジュール●

| | |
|---------------|---|
| 10/26 ~ 11/10 | 柏崎文化会館「アルフォーレ」(展示ギャラリー) 柏崎市日石町 4-32 |
| 11/11 ~ 17 | 刈羽村生涯学習センター「ラピカ」 刈羽村大字刈羽 100 |
| 11/18 ~ 24 | 小千谷市市民会館 (ホワイエ) 小千谷市土川 1-3-3 |
| 11/25 ~ 12/7 | まちなかキャンパス長岡 長岡市大手通 2-6 フェニックス大手イースト 4F |

主催

文化庁 厚生労働省 新潟県 第 34 回国民文化祭、第 19 回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会 長岡市 柏崎市 小千谷市 見附市 出雲崎町 刈羽村 公益社団法人日本伝統俳句協会 公益社団法人俳人協会 現代俳句協会 日本歌人クラブ 現代歌人協会 日本現代詩人会 一般社団法人日本詩人クラブ